

## 宮古島市の健全化判断比率

宮古島市の平成29年度決算に基づく各数値は…

○「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」のいずれの指標も早期健全化基準(イエローカード)を下回る水準、「資金不足比率」の指標は、経営健全化基準を下回る水準となっており、健全であるといえます。

指標	宮古島市		早期健全化 基 準	財 政 再 生 基 準	備 考
	平成29年度	平成28年度			
①実質赤字比率	—	—	12.53%	20.0%	一般会計等の実質収支は約21.4億円の黒字となっています。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。
②連結実質赤字比率	—	—	17.53%	30.0%	全会計の実質収支は、約31.8億円の黒字となっています。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。
③実質公債費比率	7.1%	7.3%	25.0%	35.0%	【0.2ポイント改善】 特別会計を含む市全体の元利償還金の減が主な要因です。
④将来負担比率	22.4%	10.7%	350.0%		基金等充当可能財源の考え方を見直したため、H28年度比で負担費率が増加していますが、早期健全化基準は大きく下回っています。
⑤資金不足比率	—	—	経営健全化 基 準  20.0%		公営企業会計毎の資金不足額の事業規模に対する比率です。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。

### ○早期健全化基準

健全化判断比率の4指標(①～④)のうち、いずれかが早期健全化基準以上となった場合は、当該健全化比率を公表した年度の末日までに「財政健全化計画」を定めることとなっています。

### ○財政再生基準

「将来負担比率」を除く健全化判断比率の3指標(①～③)のうち、いずれかが財政再生基準以上となった場合は、当該再生判断比率を公表した年度の末日までに「財政再生計画」を定めることとなっています。

## 宮古島市の実質収支・連結実質収支の状況

約21.4億円  
の黒字

(単位:千円)

区分	対象会計		実質収支額		
			平成29年度	平成28年度	増減(H29－H28)
連結実質赤字比率 の対象	①	一般会計等 (新技術特別会計含む)	2,146,434	2,074,389	72,045
	②	国民健康保険事業 特別会計	0	0	0
	③	介護保険特別会計	30,161	31,216	△ 1,055
	④	後期高齢者医療 特別会計	0	0	0
	⑤	水道事業会計	1,001,759	966,251	35,508
	⑥	公共下水道事業 特別会計	0	213	△ 213
	⑦	農漁業集落排水事業 特別会計	0	0	0
	⑧	港湾事業特別会計	2,642	30	2,612
	⑨	土地区画整理事業特別 会計	0	129,908	△ 129,908
計(①～⑨)	連結では約31.8億 円の黒字		3,180,996	3,202,007	△ 21,011
⑩ 標準財政規模			19,339,998	19,565,742	△ 225,744
実質赤字比率(%) : ①/⑩			-	-	-
連結実質赤字比率(%) : (①～⑨)/⑩			-	-	-

実際の報告様式に基づき「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は「-」で表示されていますが、黒字であることを意味しています。